

【学生留学報告】医学科4年生の中野皐月さんが はやぶさカレッジ・プログラムで留学してきました。

はやぶさカレッジ・プログラムに選拔され、2025 年 2 月 15 日から 3 月 10 日まで Thompson Rivers University (カナダ・ブリティッシュコロンビア州) へ留学してきました。はやぶさカレッジとは、弘前大学の学生が自身で研究テーマを設定し、計画・実施する海外派遣プログラムです。「安楽死と死生観」をテーマに、カナダの人々が“人生の最期”とどう向き合っているかを現地で調査してきました。カナダでは安楽死が合法であり、尊厳ある死を自ら選ぶことが認められています。滞在中はホスピスの見学、カナダのヘルスケアシステムに関する大学院講義の受講、そして終末期医療に従事している医療従事者の方々へ調査を行いました。調査を通じて、カナダの人々の多くは死をタブーとせず、自らの人生の終わりに対して向き合っていることを知りました。人々の価値観や選択は、その国の医療制度、社会保障、文化的背景と深く結びついており、カナダにおいて安楽死が受け入れられている背景には、充実した医療資源や患者の自己決定を尊重する社会環境が挙げられると推察されました。この経験から、医療者として患者さんの価値観に寄り添うための視野を得ることができました。これからも、一人ひとりの“生きる”を尊重できる医師を目指して、これからも学びと対話を重ねていきたいと思います。



医学科4年生 中野 皐月さん